

議会定例会一般質問答弁事項の対応状況リスト

番号	種別	質問議員	定例会年月	回期	質問事項	質問趣旨	回答担当課	答弁要旨	対応状況	進捗状況(令和7年12月1日現在)	進捗状況(令和8年3月1日現在)
1	継続	田代 元気	R5.9月	第10回	町施設にネーミングライツを導入する考えはないか ※R7.9月にも同様の質問あり	熊本県及び、県内自治体のスポーツ施設を始め、多くの公共施設で導入されているネーミングライツを本町でも導入する考えはないか。	生涯学習課	指定管理者「大津つなぐプロジェクト」の意見も聞きながら、また他自治体の導入状況も含めて事務的な命名権料の妥当性など課題を整理してサウンディング調査を進めていきたい。	対応中	ネーミングライツの公募・選定委員会等を設置調整し、本年度内の導入実施に向けて進めていく。	ネーミングライツの公募を令和8年5月に開始し、導入実施に向けて進めていく。
2	継続	山部 良二	R7.6月	第5回	早急な物価対策を	町と社協が実施しているフードドライブパントリーについて、年末に1回だけ行っているが、年2回増やせないか。	福祉課	回数等については、関係団体とともにできる限りの検討を行っていきたい。	対応済	現在、年1回開催しているが、食料の寄付が少なく、配布する食糧の確保のために共同募金の配分金を支出している状況。年2回行うことは現状として困難であるため、社協や関係する民間団体等の協力を得て、食料の寄付などを要請していく。	現在、食料の寄付が不足しており、共同募金の配分金を活用して実施している状況から、年2回の実施は現時点では困難であると考え。引き続き、食料の寄付確保や実施体制について、民間団体等へ働きかけを行う。
3	継続	大塚 益雄	R7.6月	第5回	熊本空港周辺地域の騒音対策について	発着便数も増加していく中、騒音測定数の追加と騒音再調査を幅広く見直すべきではないか。また、大津町独自で測定ポイントを決めて実行していくこともある。	総合政策課 環境保全課	測定器の増設や移設については、町の判断で対応可能であることを確認しているが、設置場所や費用で課題を整理しながら騒音調査については前向きに検討を進める。	対応中	騒音調査を行うための機材や測定体制について、関係機関と協議を行っている。測定箇所については、関係者と今後協議予定。費用面の問題もあるため、今後も検討を行っていく。	騒音調査を行うための機材や測定体制について、費用面も含め関係機関と協議を行い、地元の要望を会議等の場で整理しながら、対応方法について検討していく。
4	継続	田代 元気	R7.6月	第5回	町有施設の駐車場について	役場駐車場について、これまでと同等の管理運営を続けていくのか。	財政課 都市計画課 生涯学習課	大津駅周辺整備と連動させた見直しや民間委託による機器導入を含めて検討する。駐車場用地としての民間への土地貸付や駐車場の管理運営委託及び駐車券の発券が不便なカメラ監視システムについても調査しており効果的な方法が見つければ具体的な検討に入りたい。無料時間設定も見直しを考慮。生涯学習センター未装備駐車場は「生涯学習センター改修基本構想策定業務委託」で検討する。	対応中	民間委託も含めて、複数の駐車場業者とコスト面や、新たな設備(監視カメラ方式等)の導入について協議を進めている。その中で、役場の駐車場だけでなく、生涯学習センター、中央公園等の既存の駐車場や、今後、整備を行う大津駅周辺との連動を考えていく必要があるため、町の都市計画マスタープランとの整合性を含めて駐車場全体の整備の在り方について検討を進めている。	都市計画マスタープラン、肥後大津駅周辺整備計画との調整を図りながら、駐車場運営を行っている業者とまちづくりを含めた町内中心部の駐車場整備の在り方等について協議を進めていく予定。
5	継続	豊瀬和久	R7.6月	第5回	上下水道を身近に感じていただくための「デザインマンホール」と「マンホールカード」の作成について	町のオリジナルの新しいデザインマンホール蓋とマンホールカードを作成し、町民や観光客に無料で配布すべきではないか。	下水道課	肥後大津駅周辺整備や中間駅整備にあたって新規デザインも含めて取り入れることが出来なかなど、他自治体の先進事例なども参考にしながら必要性や効果についても引き続き前向きな検討を行ってきたい。観光関係の部署とも連携を取り入れながらデザインの検討から始めたい。	対応中	作成している市町や関係課に確認を行い課題を整理しながら進めている。	関連する機関や部署に確認を行いデザインやスケジュール、費用等の整理を行い、令和8年度当初予算として計上している。
6	継続	清原さおり	R7.6月	第5回	火災時の情報発信と地域訓練の強化を問う	火災発生時の連絡について当該地域の区長とかにも個別に連絡がいくようにすれば住民からの問い合わせ等が少なくなるのではないか。	防災交通課	今後、地域の役職の方とかには迅速に連絡ができるような体制は考えたい。	対応済	業者とのシステム連携の打合せを行っていたが、連携上や費用面の課題があり、実現に至っていない。地域の役職者に限り、消防団メールに登録する方法なども含め消防団と協議を行っている。	地域役職者への迅速な情報伝達について、消防団メールへの登録の可否を消防団と協議したが、位置情報も共有される仕組みであり、消火活動・人命救助を最優先とする観点から、登録は消防団員に限定すべきとの結論に至った。また、消防署とのシステム連携については、技術面及び費用面での課題が多く、早期の実現は困難な状況である。当面は、菊池広域連合が運用する災害案内(096-292-4294)の活用を周知していく。
7	継続	豊瀬 和久	R7.9月	第8回	乗合タクシーの乗車・降車対象エリアの拡大について	まちなかバスの降車区域の見直しについてはどのように考えているか。	総合政策課	降車地域のエリアについては研究していきたい。	対応中	エリア拡大に向けて、交通事業者等との協議を進めている。	令和8年4月1日より町全域にエリアを拡大する。
8	新規	大村 裕一郎	R7.12月	第10回	親元農業の要因に係る分析結果について	スマート農業の継続ということで、試しで一度使ってみてもらうというような場が必要なのではないか。	商業観光課	スマート農業の展示会みたいなもので出来ないか検討して来年度取り組んでいきたい。	対応中		機械メーカーによる展示会などの情報収集を進めている。
9	新規	大塚 益雄	R7.12月	第10回	外国人との共生について	外国人の転入に伴い、配るチラシ等を写真とか、絵とかOX式等で表示して理解しやすいように見直してはいかかが。	総合政策課	提案のあった絵とか写真とかイメージが湧くようなチラシを作成していきたい。	対応中		より分かりやすく伝える案内物について、令和8年4月以降の配布に向け、現在作成を進めている。